

令和3年度東京2020大会関連予算について

1 東京2020聖火リレーにおけるセレブレーション等の実施（14,670千円）

区内で行われる聖火リレーにおいて、セレブレーション等を東京2020組織委員会および東京都聖火リレー実行委員会と協力して実施する。

* オリンピック聖火リレーセレブレーション

- ・開催日 令和3年7月20日（火）
- ・会場 浜町公園

* パラリンピック聖火 採火式

- ・実施日 令和3年8月20日（金） 場所は未定

* パラリンピック聖火リレー

- ・実施日 令和3年8月24日（火）

* 聖火リレーイベント等のライブ配信

新型コロナウイルス感染症対策として、会場を訪れなくても多くの方がイベントを楽しめるようインターネットでライブ配信を行う。

2 東京2020大会に向けて地域一体となった「おもてなし」の展開（69,193千円）

* おもてなしセンターの運営

東京2020大会を契機に本区を訪れる来街者等に対し、多言語による観光案内や協力企業によるブースの設置などを行う。

- ・期間 令和3年7月20日（火）～9月5日（日）
- ・場所 銀座松竹スクエア1階

* 情報発信および区内回遊促進事業

本区の魅力がより多くの人に届くよう特設ウェブページを作成するほか、SNSタグ付けラリーやオンライン観光ツアーなどにより、効果的な情報発信を行うとともに、区内の様々なスポットをめぐるガイドツアーなどを行うことにより区内回遊を促進する。

* 折り鶴ウェーブの展開

区民等が平和への願いや歓迎の気持ちを込めて作った折り鶴を用いて、大会関連施設などで選手等に折り鶴の配布等を行う。

* 貸出施設におけるおもてなしの取組

ブラジルオリンピック委員会拠点（豊海小学校・豊海幼稚園）およびオーストラリアパラリンピック委員会拠点（晴海中学校）において、地域や生徒が主体となって各国選手団等を歓迎するおもてなしの取組を行う。

* 「区のおしらせ 東京2020大会特集号」の発行

- ・内 容 大会の概要，大会時の区内の取組，大会に伴う交通規制など
- ・発行日 7月1日
- ・配布先 町会・自治会，区内観光案内所，おもてなしセンターなど

3 園児・児童・生徒のパラリンピック観戦（11,326千円）

東京都教育委員会から配布される観戦チケットを活用し、パラリンピック競技を観戦することにより、子どもたちにとってかけがえのないレガシーを残す。観戦にあたり、必要に応じた交通手段を確保する。

- * 対 象 区立幼稚園の5歳児，区立小中学校の全児童・全生徒
- * 観戦日程 令和3年8月25日～9月5日（予定）
（幼稚園・小中学校ごとに異なる）

4 東京2020大会開催に係る生活安全支援事業（800千円）

東京2020大会の開催に伴い、地域の参加意識の醸成および安全で安心なまちの維持のため、防犯協会が行うパトロールを支援する。

- * 対象団体 区内防犯協会（中央，久松，築地，月島）
- * 対象経費 防犯活動に必要となる経費
パトロール用ベスト・Tシャツ等作成費，感染症対策物品購入費，お茶，経口補水液，弁当代，会議経費等
- * 限度額 20万円

5 東京2020大会レガシーの継承（7,116千円）

* 銘板の設置

大会が実施された場所を有形の大会レガシーとして継承していくため、大会で使用した区内施設にオリンピック・パラリンピックブランドを活用した銘板（プレート）を設置する。

・設置場所

浜町公園（東京2020オリンピック聖火リレーセレブレーション会場）
総合スポーツセンター（3x3バスケットボール公式練習会場）
東日本橋交通導流島街角広場（パラリンピックマラソンコース）

・設置時期

令和3年12月（予定）

* 大会記録映像等の制作

東京2020大会に向けて区民、関係団体および区が一丸となって取り組んだ姿を記録映像および報告書としてまとめ、大会の感動と記憶を区民の共有財産として将来へ引き継いでいく。

6 その他（1,039 千円）

* オリンピック・パラリンピックに関する講演会

東京 2020 大会の開催に向け、気運醸成を図るきっかけづくりの場にするとともに、大会後のレガシー継承に寄与するために講演会を開催する。（年 2 回）

* 区のおもてなし事業に係るボランティアやイベント参加者が加入する保険等の事務費を計上する。